

令和元年度
お客さま本位の業務運営に関する
具体的な取組状況について

令和2年9月

 遠州信用金庫



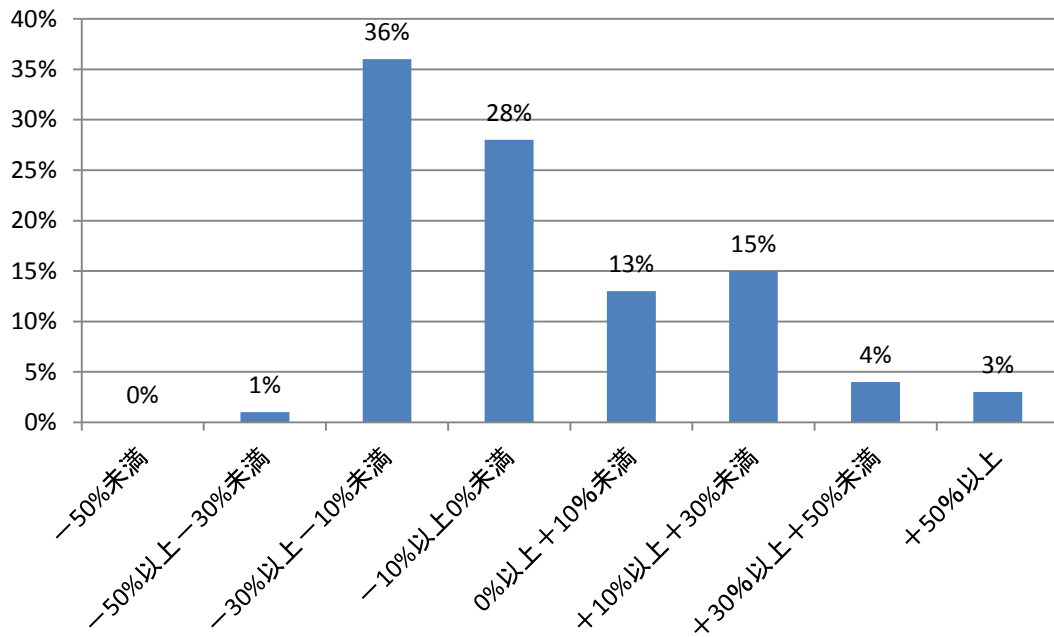
お客さま本位の業務運営に関する具体的な取組状況について

1. 投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI (成果指標)

当金庫は、平成29年12月に「お客様本位の業務運営に関する取組方針」を制定し取組んでまいりました。今後もお客様の最善の利益を追求することを最優先に商品・サービスの提供をおこないお客様本位の業務運営を徹底してまいります。

(1) 投資信託の運用損益別顧客比率

【令和元年度】

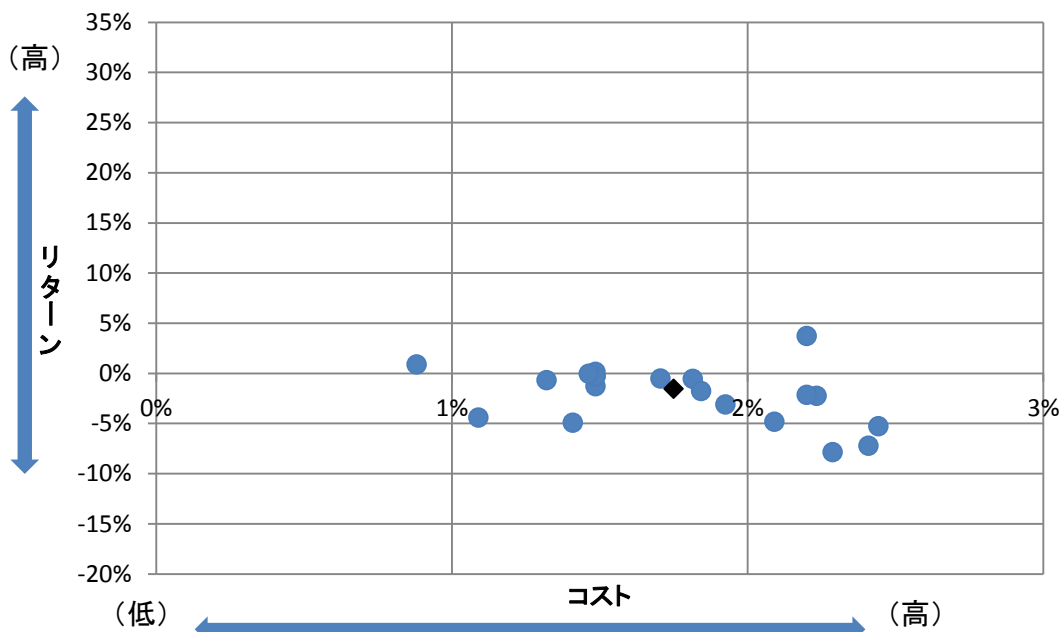


※年度末(3月末/基準日)時点で投資信託を保有されているお客さまを対象としております。
※運用損益は基準日時点の評価金額・累計受取分配金額(税引後)等により算出しております。
※基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は運用損益計算の対象外となります

お客さま本位の業務運営に関する具体的な取組状況について

(2) 投資信託の預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン

【令和元年度】

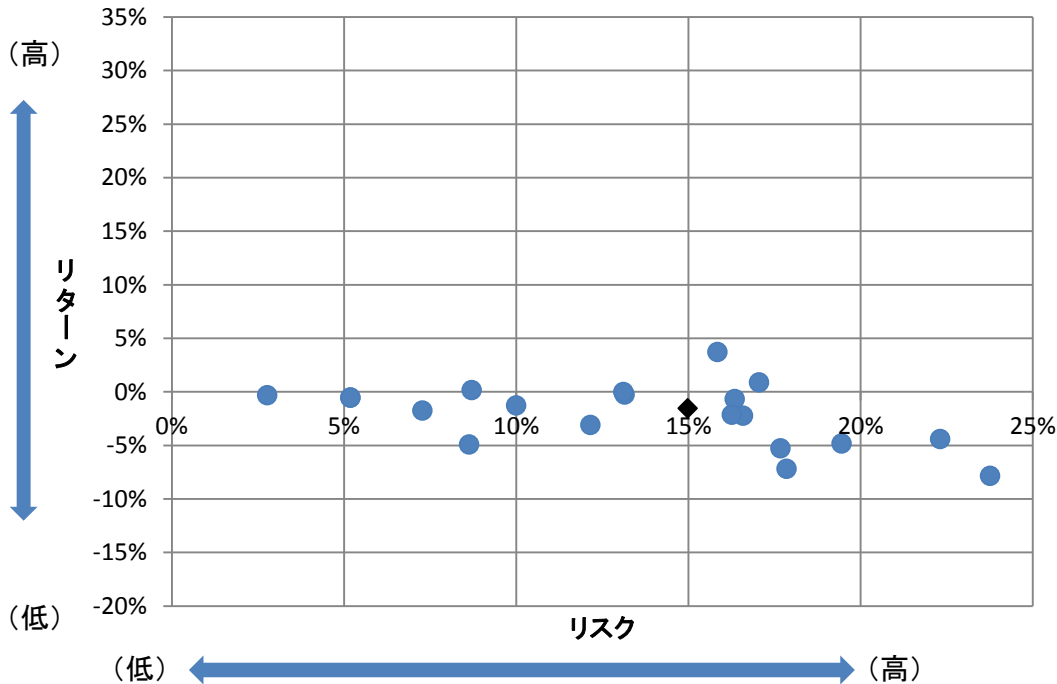


残高加重平均値	コスト	リターン
	1.75%	-1.53%

※年度末(3月末/基準日)時点で設定後5年以上となる投資信託銘柄を対象としております。
 ※コストは基準日時点の販売手数料率(税込)の1/5と信託報酬率(税込)の合計値となります。
 ※リターンは過去5年間のトータルリターン(年率換算)となります。
 ※◆: 残高加重平均値

(3) 投資信託の預かり資産残高上位20銘柄のリスク・リターン

【令和元年度】



残高加重平均値	リスク	リターン
	14.98%	-1.53%

※年度末(3月末/基準日)時点で設定後5年以上となる投資信託銘柄を対象としております。
 ※リスクは過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)となります。
 ※リターンは過去5年間のトータルリターン(年率換算)となります。
 ※◆: 残高加重平均値

お客さま本位の業務運営に関する具体的な取組状況について

【参考】当金庫における投資信託の預かり資産残高上位20銘柄

【令和元年度】

順位	銘柄名	コスト	リスク	リターン
①	新光US-REITオープン	2.23%	16.59%	-2.24%
②	しんきんJリートオープン(毎月決算型)	1.49%	13.16%	-0.25%
③	しんきんインデックスファンド225	0.88%	17.06%	0.87%
④	しんきん3資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	8.71%	0.16%
⑤	トヨタグループ株式ファンド	1.09%	22.31%	-4.40%
⑥	三井住友・グローバル・リート・オープン	2.41%	17.85%	-7.21%
⑦	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.82%	5.19%	-0.56%
⑧	しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)	1.49%	10.00%	-1.28%
⑨	ワールド・インフラ好配当株式ファンド(毎月決算型)	2.44%	17.68%	-5.27%
⑩	しんきん世界好配当利回り株ファンド(毎月決算型)	2.09%	19.45%	-4.84%
⑪	DIAM高格付外債ファンド	1.93%	12.16%	-3.09%
⑫	しんきん好配当利回り株ファンド	1.32%	16.35%	-0.67%
⑬	ダイワ資産分散インカムオープン(奇数月決算型)	1.84%	7.28%	-1.75%
⑭	しんきん世界アロケーションファンド	1.49%	2.77%	-0.33%
⑮	世界のサイフ	1.41%	8.63%	-4.93%
⑯	新光US-REITオープン(年1回決算型)	2.20%	16.26%	-2.15%
⑰	しんきんJリートオープン(1年決算型)	1.46%	13.11%	-0.03%
⑱	グローバル・ソブリン・オープン(資産成長型)	1.71%	5.18%	-0.52%
⑲	三井住友・げんきシニアライフ・オープン	2.20%	15.85%	3.73%
⑳	DIAMオーストラリアリートオープン	2.29%	23.76%	-7.86%

※年度末(3月末/基準日)時点で設定後5年以上となる投資信託銘柄を対象としております。